

あぶたんつうしん

148号

① 岩沼市寺島地先



② 亶理町荒浜地先



津波高表示板を設置しました



阿武隈川河口設置箇所

震災から5年を迎え、岩沼出張所管内では、津波高表示板を阿武隈川河口0.0km左右岸の岩沼市寺島地先、亶理町荒浜地先の2箇所に設置しました。
「あの日を忘れない」ように津波の高さがイメージできる看板となっています。



石井大臣(左)、岩沼市長(中央)、宮田事務所長(右)



津波水位標示

石井大臣寺島堤防視察

3月5日(土)に石井国交大臣が岩沼市寺島地区の堤防を視察しました。
宮田事務所長より当時の緊迫した避難状況などの様子を石井大臣に説明しました。
この地域は平成22年に質的整備を完了した堤防が津波に耐え、堤防に避難していた住民たちの命が守られた地区になります。

～現場見学会を開催(2/25)～

新浜水門の災害復旧工事現場において職員を対象とした現場見学会を開催しました。
工事現場では東日本大震災による阿武隈川河口部の被災状況、水門の鉄筋・型枠組立、ガス圧接部の引張試験について担当者が説明した後、鉄筋の結束作業などを実際に体験しました。
この水門が完成した際には、水害から財産や暮らしを守るなどの役割を担っていきます。

＝水門と樋門・樋管の違い＝

【水門とは】

河川や水路を横断して設けられる制御施設で堤防の機能を持つもの。ゲートを閉めた時に堤防の役割を果たします。

【樋門・樋管とは】

用水の取水や内水の排水を目的とした施設。洪水時にはゲートが閉められ、河川の水が堤内地の水路へ逆流するのを防ぎます。

【水門と樋門・樋管の違いとは】

「水門」は堤防を分断する形で設けられる施設

「樋門・樋管」は堤防の中に水路を埋設する構造の施設



鉄筋の結束作業をする様子



新浜水門の完成イメージ

